

浜通りの復興状況確認

政策公庫の浜辺専務 工業地など視察

日本政策金融公庫の浜辺哲也専務は十二日、いわき市や双葉郡を訪れ、浜通りの復興状況を確認した。

十三日に福島市で開かれた「地域経済活性化シンポジウム」に出席するため来県した。

浜辺専務は東日本大震災復興対策本部福島現地対策本部事務局次長、二〇一二年には復興庁福島復興局次長を務めた経験を持つ。

四倉中核工業団地で風力発電設備の支柱部分をつくる会川鉄工、

久之浜町の商業施設「浜風きらら」、檜葉、浪江両町を視察した。会川鉄工では、会川文雄社長らから製造工程の説明を受けながら工

場内を見て回った。奥田智則いわき支店長らが一緒に訪れた。

渡辺専務は、「復興が着実に進み、新たな産業が生まれる土壌ができつつある。事業再開への支援、ベンチャー企業を生み出す取り組みにも力を入れていく」と語った。

意見書の提出決める

いわき市議会
最終本会議 人事案同意も

十四日に閉会したいわき市の二月定例議会の最終本会議では、意見書六件の提出を決めたほか、人権擁護委員に野木恵子さん(六)を推薦する人事案に同意した。

意見書は児童虐待防止対策のきりこぼる魚

化、UR賃貸住宅ストックの活用、妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進、県最低賃金の引き上げと早期発効、義援金差押禁止法の恒久化を求め、食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める内容。